



令和 4 年
6 月 9 日 発行
第 3 号
(担当 竹内)



力戦奮闘～燃えろ五色の東志～

5月24日(火)に令和4年度東風祭が行われました。今年度、各学年が5軍に分かれ、3つの学年による軍を編成しました。コロナ禍の2年間は、競技をする学年だけがグラウンドに出ているので他学年の生徒に声援を届けることができませんでした。今年は応援席をグラウンドに設け、マスクを着用し声を出さず拍手のみの応援でしたが、近くで競技を観ることができました。どの軍も、学級の仲間や異学年同士の交流を通じて団結力が高まり、一人一人の成長がありました。

「楽しい東風祭」

東風祭実行委員長 3-1 岩本 陽向さん
東風祭お疲れ様でした。時期の変更もありましたが、今年の東風祭の大きな目玉は、緑と橙を加えた5軍編成での実施でした。はじめての試みでみなさんも不安に感じていたと思います。実行委員としても、リーダーからの不安の声を聞いていたので焦りを感じていました。ですが、結果的に競技、応援、パネルと大いに盛り上がり大成功で終わることができました。運営として本部からみる応援はまた違う特別な景色でした。それまで頑張ってきたことが蘇ってくる瞬間でした。実行委員長として、歴史に名を刻む新しい東風祭の運営に携われてよかったと思います。



「紅麗最高！」

赤軍 軍団長 3-1 南 統子さん
今年から東風祭が5月開催となり、例年より準備期間が短く、間に合うかと、心配や不安な気持ちがとても大きかったのが本音です。そんな中で、応援リーダーの仲間はたくさん意見を出してくれたり、3年1組の級友もアドバイスを伝えてくれたりして、とても心強く感じました。本部前応援は、より良いパフォーマンスを追求し、前日ギリギリまで修正を重ねました。赤軍1人1人の吸収力が素晴らしく、当日は最高の応援を完成させることができました。赤軍の軍団長になって、私はとても幸せでした。紅麗最高！



「仲間と挑戦！」

青軍 軍団長 3-5 古澤 優育さん
今年の東風祭は新しいことが多く大きな不安がありました。軍団全員で協力し合ったり、時には軍の壁を越え全員で史上最高に楽しい記憶に残る東風祭をつくることができました。私は仲間の大切さを実感し、貴重な経験をすることができました。この東風祭が私だけではなく、全校のみなさんにとっても楽しい素敵な思い出となってくれたら嬉しいです！ありがとうございました！



「最高のメンバーと獲った俺らの夏」

黄軍 軍団長 3-3 古川 拓生さん

黄軍は結果として、競技準優勝、応援優勝で総合優勝をとり、最高の形で東風祭を終えることができました。これは間違いなく、葵琉のみんなが楽しく笑顔で闘ってくれたこと。そして、僕が大好きな応援リーダーのみんなの仲の良さからなる団結力。これらのおかげだと思っています。また、リーダーのみんなは、常に他軍に負けない強い気持ちを持たせてくれました。今年は葵琉の年！



「全緑疾走」

緑軍 軍団長 3-2 田中 宏明さん

東風祭が5月に開催されると聞いてはじめてに浮かんだのは、「クラス編成から1月余しか経ってないのに、学年の壁を超えて打ち解けるきっかけを作れるのか」という不安でした。しかし、応援を本気で楽しむリーダー達や、声をかければ大きな返事してくれる緑軍の皆の一人ひとりが全力を出し尽くし、一丸となって、東風祭初の緑軍に競技優勝を飾る事ができました。やっぱり翠駕は最高オツ！



「中学校最後の東風祭」

橙軍 軍団長 3-4 有本 光冴さん

僕の中学校最後の東風祭での1番の目標は、全力で楽しみ、応援優勝することでした。結果は応援優勝をとれなくてすごくやしかったです。橙軍のみんなと楽しく終わることができました。

この東風祭で、仲間の大切さとどんなことも全力で楽しむことの大切さを学びました。橙軍のみんながいたから、最後の東風祭が大成功したと思います。「やっぱり橙軍が最高です！」



総合

優勝 黄軍
準優勝 赤軍

競技の部

優勝 緑軍
準優勝 黄軍

応援の部

優勝 黄軍
準優勝 赤軍

パネルの部

優勝 赤軍
準優勝 橙軍



新潟市中学校体育大会迫る

6月13日(月)・14日(火)に陸上競技、サッカー、ソフトテニス、6月20日(月)・21日(火)にその他の競技で、新潟市中学校体育大会が行われます。この大会を勝ち抜くと、上位大会につながります。それだけに、特に3年生には特別な思いがあることでしょう。強い気持ちで全力で戦ってきてほしいと思います。

「中学校最後の大会」

ソフトテニス部男子 3-4 長岡 全さん
男子ソフトテニス部は今まで、市内大会に向け練習してきました。今年度から男女合同練習が始まったこともあり、いろいろ大変でしたが部員や顧問の先生方と協力しながらより質の高い練習を目指し頑張ってきました。市内大会ではこれまで練習してきたことを最大限に発揮できるよう全員で楽しみながら頑張ります。

「去年の悔しさ」

サッカー部 3-4 有本 光冴さん
私は去年、新人戦がなくなりとても悔しい思いをしました。その悔しい思いを力に変え、日頃の練習では1人1人が集中し、チーム力を高めてきました。私たちは県大会出場を目指しています。市内大会では練習の成果を十分に発揮し、悔いなく戦ってきます。全校の皆さん、先生方、保護者の皆様、応援よろしくをお願いします。

「目指せ決勝リーグ」

卓球部 3-5 都丸 和史さん
私たちは市内大会に向けて「目指せ決勝リーグ進出一本集中」という目標を立て、先生や先輩に教えてもらったことを生かし仲間と切磋琢磨しながら練習に取り組んできました。大会を実施してくださった方々への感謝を忘れず、必ず目標達成できるよう部員全員で全力を尽くして頑張ります。

「昨日より 今までより」

陸上競技部 3-3 増子 岳暁さん
私たち陸上競技部は、常日頃から昨日までの自分をライバルとし、練習に励んできました。この市中学校体育大会では、各々自らの過去の記録を超えることを目標として、練習の成果を十分に発揮できるようにコンディションを整えていきたいと思います。ぜひ「記録更新」の勝利宣言をご期待ください。

「共に戦う仲間と感謝」

ソフトテニス部女子 3-5 古澤 優育さん
私たちはこの3年間顧問の先生のご指導のもと、部員全員が本気で練習に打ち込んできました。これまで支えてくれた家族や先生方へ感謝の気持ちを忘れず、悔いの残らないよう全力で戦ってきます。また目標達成に向けて自分のプレーに自信をもち、今までの成果を存分に発揮できるよう頑張ります！

「市内大会に向けて」

バレーボール部 3-4 土田 陽菜乃さん
私たちの目標は県大会に出場することです。新チームになってから、勝つことよりも負けることの方が多い私たちでしたが、市内大会が近づいてきてから安定して勝てるようになってきました。私たちの強みである「粘り強さ」が発揮できるよう、残りの練習に全力で取り組み、目標を達成できるよう頑張りたいです。



「僕たちの集大成」

男子バスケットボール部 3-5 伊藤 拓海さん
僕たち男子バスケットボール部では1年生のころから少ないメンバーで活動してきました。しかし、メンバーが少ないからこそ、皆で改善点を出し合いながら、チームの力を高めることができました。今まで僕たちを支えてくださった先生方、保護者の皆さんへの感謝の気持ちをプレーで表現できるようがんばります。男子バスケットボール部への応援をよろしくお願いします。

「一羽心球」

バドミントン部女子 3-2 矢ヶ崎 優歩さん
私たちは東総合スポーツセンターにて試合を行ってきます。
日々の練習で習得したことを存分に発揮できるように全力を尽くしてきます。個人戦では最後まで諦めないという強い意志をもち、団体戦ではチーム一丸となり優勝できるように頑張ります。応援よろしくお願いします。

「勇往邁進」

野球部 3-1 五味澤 峰空さん
僕たちは「県大会出場」を目標に掲げ監督、コーチの指導のもとチーム一丸となって日々努力を積み重ねてきました。大会では、全力を尽くして練習の成果を発揮し、県大会出場をつかみとってきます！皆様熱い応援よろしくお願いします。

「中学生初めての試合」

柔道 1-4 渡邊 愛心さん
私は小さい頃から柔道をしています。小学生の時はコロナの影響で試合が続々と中止になり、練習の成果を発揮する場が限られました。また、本大会では2~3年生の先輩達もいて、勝つのが難しくなってきます。先輩達にも負けないよう日々の練習を頑張り、県大会出場するためにまずは地区大会で優勝したいです。

「目標に向かって全力籠球！」

女子バスケットボール部 3-3 今井 梨瑚さん
私たちの目標は「県大会出場」。この目標のためにこれまでたくさんの努力を積み重ねてきました。最高のプレーを魅せられるように、そしてコロナ禍で大変な中、大会が開催されることへの感謝を忘れずに部員19人一丸となって全力で戦います。応援よろしくお願いします。

「敗北の強さ」

バドミントン部男子 3-3 貝沢 汰一さん
男子バドミントン部は、3年生全員が中学校から始めて、これまで何度も負けてきました。せまいはずのコートも広く感じ、体力の限界もたくさん感じてきました。ですが、それを乗り越え頑張ったからこそ、今の勝ちたいという強い気持ちがあります。部員全員で一丸となり、全力で大会に挑んできます。応援よろしくお願いします。

「今大会での目標」

硬式テニス 2-5 庄司 直央さん
僕は、最近の大会ではあまり勝つことができていません。なので、今大会での僕の目標は、1つでも多く勝つことです。
勝つために、僕は、1ポイント1ポイントに集中することを心がけたいです。あまり勝とうと思えば思うとうまくいかないの、ポイントごとに集中していきたいです。

「至誠一貫」

剣道 1-1 伊藤 瑛太さん
コロナ禍で試合が中止になってばかりで約一年間試合には参加できませんでした。しかし、日頃から先生の指導と励ましのお言葉で練習に打ち込んできました。その成果を十分に発揮できるように至誠一貫という言葉の通り、最後まで至誠を貫き通し真心を持って立ち向かいます。